

◎ 26年度 大学と市内地域・企業等との連携取組事例

#	大学名	連携事業名	具体的な連携取組の内容	連携先	事業期間
1	神奈川大学		ブックオフから提供された中古書籍をもとに、日本語を学ぶ国内外の子供たちの学習支援及び日本の子供たちとの間の国際交流の実施	ブックオフコーポレーション株式会社	平成20年
2	神奈川大学	NPOインターンシッププログラム	横浜市内のNPOとの連携によるインターンシップ	アクションポート横浜	平成26年8月～9月
3	神奈川大学	学部授業の開設	・人間科学部「人間と社会Ⅰ」(前/後学期各2単位) 人間科学部の正課科目を3社と共同で実施。マス・メディアの情報が社会に発信されるまでの過程を実践的に学ぶとともに、メディアの役割や展望を学び、市民・社会人としてのメディアとの関わりを考える。	神奈川新聞社 テレビ神奈川 共同通信社横浜支局	平成26年4月～27年1月
4	神奈川大学	課題解決力向上プロジェクト学習	県内企業等が持つ課題に対して職業体験を通じて解決案を提示することで「課題解決力」の向上を目指すプロジェクト型学習。 県内にキャンパスを置く大学の2年次学生が対象。	神奈川県政策研究・大学連携センター	平成26年8月～9月
5	神奈川大学	神奈川区連携事業(サッカークリニック)	神奈川区民対象 親子サッカークリニック(with 横浜FC & 神大サッカー部)	神奈川区民	平成23年
6	神奈川大学	神奈川県立図書館との連携	神奈川県立図書館と協定を結び、相互協力を実施 学内に所蔵していない資料で、神奈川県立図書館(横浜市西区(川崎図書館を含む))が所蔵している場合は、神奈川大学図書館(平塚図書館)を経由して利用が可能 神奈川大学図書館から神奈川県立図書館への貸出しを実施	神奈川県立図書館(横浜市西区)	平成18年
7	神奈川大学	公開講座の開設	・実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座 神奈川区との連携講座「神奈川区民大学 地域・防災・まちづくり」(2005)の一般参加者を中心に、市民団体「防災塾・だるま」が組織され、2006年より当該講座を継続的に開催。	防災塾・だるま	平成26年10月～11月
8	神奈川大学	高大連携事業	横浜市内の県立高等学校及び私立高等学校並びに市立高等学校と高大連携協定を締結し、高校の要望に応じて出張講義、学内施設(図書館・ジム)を利用したインターンシップ等の実施	横浜市内の県立高等学校25校及び私立高等学校3校並びに市立高等学校4校	平成13年
9	神奈川大学	高大連携事業	職場体験学習(トレーナーの仕事について)の受入れ	県内(市内)高校生	平成22年
10	神奈川大学	産学連携事業	横浜企業経営支援財団、市工連、市内大学等と連携し、市内の企業とのニーズとシーズのマッチングによる産学連携を実施	各機関の産学連携担当部署	平成12年
11	神奈川大学	地元小学校での演奏会	地元小学校より依頼を受け、管弦楽団が毎年演奏会を開催	市内小学校	平成15年
12	神奈川大学	地元商店街・学校・町内会との連携	学園祭(神大フェスタ)の地域密着企画への参加	六角橋商店街、近隣町内会、市内小学校	平成11年
13	神奈川大学	地元商店街との連携	商店街主催のナイトフェスタへの課外活動の協力及び学園祭(神大フェスタ)への出店	六角橋商店街	平成11年
14	神奈川大学	地元商店街との連携	男子サッカー部によるお祭りの運営手伝い 男子サッカー部による毎週月曜朝の中山駅周辺のゴミ拾い	中山商店街と合同企画	平成14年
15	神奈川大学	地元商店街との連携	防犯サークル(K.C.C)による地元商店街との防犯キャンペーン活動	市内商店街	平成25年
16	神奈川大学	地元幼稚園、小学校への学生の派遣	陸上競技部によるランニング教室	横浜市立南神大寺小学校 他	平成22年
17	神奈川大学	シンポジウム	・シンポジウム「次世代のエネルギーを考える」 平成25年度に行った神奈川新聞社との共同世論調査を踏まえ、国や地方行政および民間のエネルギー政策と市民の意識について議論を深める。シンポジウムの様子は紙上に掲載。	神奈川新聞社	平成26年

◎ 26年度 大学と市内地域・企業等との連携取組事例

#	大学名	連携事業名	具体的な連携取組の内容	連携先	事業期間
18	神奈川大学	大会運営への学生派遣	男子サッカー部による大会運営補助、審判等 (ビーチサッカー大会、キッズサッカー大会等)	一般社団法人横浜サッカー協会より依頼	平成19年
19	神奈川大学	大会運営への学生派遣	水泳部による横浜会場での大会運営補助	スペシャルオリンピックス日本・神奈川	平成22年
20	神奈川大学	中学生ポジション別練習会	男子サッカー部による横浜市内の中学生チームまたは選手を対象としたサッカー教室の開催	一般社団法人神奈川県サッカー協会より依頼	平成22年
21	神奈川大学	中学校への学生の派遣	職場体験学習(トレーナーの仕事について)への講師派遣	横浜市立神奈川中学校	平成24年
22	神奈川大学	中学校への学生の派遣	職場体験学習(トレーナーの仕事について)への講師派遣	横浜市立中山中学校	平成24年
23	神奈川大学	中学校への指導者・学生の派遣	サッカー部によるサッカー教室	横浜市立神奈川中学校	平成22年
24	神奈川大学	中学校への指導者・学生の派遣	硬式野球部による野球教室	横浜市立中学校(2~3校)	平成24年
25	神奈川大学	中学校への指導者・学生の派遣	水泳部による水泳教室	横浜市立神奈川中学校	平成25年
26	神奈川大学	中学校への指導者・学生の派遣	硬式野球部による野球教室	横浜市立神奈川中学校	平成25年
27	神奈川大学	中学校への指導者・学生の派遣	陸上競技部による陸上教室	横浜市立神奈川中学校	平成25年
28	神奈川大学	横浜インターンシップ制度	横浜インターンシップ推進会議主催のもと、横浜商工会議所の会員企業を実習先として行うインターンシップ制度 横浜市内に本部を置く10大学の学生が対象	横浜商工会議所	平成26年8月~9月
29	神奈川大学	横浜市内大学間学術・教育交流協議会 横浜市内大学図書館コンソーシアム	横浜市内大学図書館コンソーシアムは、「横浜市内大学間学術・教育交流協議会」の会員校によって、学生の教育機会の多様化を図ること、相互に各図書館の特性を生かしつつ協力し、交流を深め、教育・研究活動の推進を図ることを目的として結成原則として加盟大学の学生、教職員は加盟館の館内閲覧利用が可能	横浜市内大学(14大学)	平成12年度
30	神奈川大学	理学部オープンラボ	・実験型授業を体験し最先端の機器に触れてみよう! 神奈川新聞紙上で物理コース・化学のコース・生物コース各20名程度の高校生を募集し、湘南ひらつかキャンパスにおいて実験授業およびハイテクリサーチセンター等の施設・実験機器を見学。授業の様子を紙上に掲載。	神奈川新聞社	平成26年
31	神奈川大学	学校法人神奈川大学と株式会社りそな銀行との包括的連携協定	取引先企業の紹介から共同研究・受託研究の推進、インターンシップの実施、講演会等への講師派遣と連携	りそな銀行	平成19年
32	神奈川大学	市内高校への留学生の派遣	留学生を市内の高等学校の特別授業に派遣	市内高等学校	平成26年
33	神奈川大学	大規模地震発生時の減災応援協力	神奈川大学周辺地域の住民相互と神奈川大学の相互協力により、消火、救助、応急手当等を効果的に行うことで地域全体の被害の軽減を図る	斎藤分町北部自治会、斎藤分南都町内会、中丸町内会、六角橋南町内会	平成25年
34	神奈川大学	包括協定に基づく連携事業(地域経済の活性化と学術研究の進展で協力)	神奈川大学生向けインターンシップの実施	横浜銀行	平成20年

◎ 26年度 大学と市内地域・企業等との連携取組事例

#	大学名	連携事業名	具体的な連携取組の内容	連携先	事業期間
35	鎌倉女子大学・鎌倉女子大学短期大学部	神奈川県立青少年センターと鎌倉女子大学との連携協力	本学は神奈川県立青少年センターに講師の派遣を依頼し、教職を目指す学生を対象に「小学校理科授業実践講座」を開催している。講座のカリキュラムについては、神奈川県立青少年センター科学支援課の出前授業プログラムにしたがって行っている。	神奈川県立青少年センター	平成20年
36	鎌倉女子大学・鎌倉女子大学短期大学部	神奈川県立総合教育センターと鎌倉女子大学との連携協力	本学は神奈川県立総合教育センターに指導主事の派遣を依頼し、教職を目指す学生対象の講座を開催している。本学は現職教員の研修へ本学教員を講師として派遣している。また、相互の人的・物的資源と知的財産を有効に活用するなど、教員の資質向上と大学教育の充実に資するため連携を行っている。	神奈川県立総合教育センター	平成17年
37	鎌倉女子大学短期大学部	放課後児童健全育成研修事業指導員研修	放課後子どもプラン推進事業業務(放課後児童クラブ指導員研修会の運営業務)の受託	神奈川県保健福祉局福祉・次世代育成部次世代育成課	平成23年
38	カラス女子短期大学	あおば6大学まつり	青葉区制20周年記念イベント。学生によるパフォーマンス、教員による公開講座。	青葉区6大学(他5大学)	平成26年8月
39	カラス女子短期大学	青葉区6大学クリーン大作戦	青葉区を魅力ある街にするため、学生自らができることを企画・検討する活動の一環として行っている清掃活動。	青葉区6大学(他5大学)	平成26年4月
40	カラス女子短期大学	青葉区6大学めぐりツアー	6大学を見学するバスツアー。施設見学・ミニ授業・学食利用等。	青葉区6大学(他5大学)	平成26年5月
41	カラス女子短期大学	青葉区6大学連携講座	青葉区内6大学による連携講座を各大学で開催。国際交流フォーラム「国際交流の目指すもの—日本の若者は内向きか—」	青葉区6大学(他5大学)	平成26年11月
42	カラス女子短期大学	高大連携夏季総合講座	高校生の視野を広げ、進路に対する学習意欲を深める事を目的として、夏休みに集中講座を実施。	神奈川県総合学科高等学校校長会	平成26年7月～8月
43	カラス女子短期大学	子宮頸がん予防講座	横浜市立大学看護学科学学生によるピアエデュケーション授業を本学学生が受講。受講学生が、新たなピアエデュケーターとして、子宮頸がん予防の輪を広げていき、発症率低下を目指すもの。	横浜市立大学看護学科学科	平成27年1月
44	カラス女子短期大学	スポーツデイ	本学の行事の一つである「スポーツデイ」に、ママの健康づくりの為に活動を行う「チームWITH」の親子の方たちにも参加してもらい、本学学生・教職員と一緒にスポーツを楽しむもの。	チームWITH	平成26年
45	カラス女子短期大学	パン販売の手伝い	知的障害者の方の施設「愛」で生産されたパンを学内で販売する際のお手伝い。	施設「愛」	通年
46	カラス女子短期大学	ボランティア活動	キリスト教文化部を中心とする本学学生・教員が、知的障害者支援サークル(通称トウィンクル)に参加。年2回の全体会、月1回のイベント開催(障害者の方とのボーリング、カラオケ、スポーツ)が主な活動内容。	知的障害者支援サークル(トウィンクル)	通年
47	カラス女子短期大学	山内ライブラリーカレッジ(青葉区6大学連携講座)	青葉区内6大学による連携講座を山内図書館で開催。「ロココの世紀の哲学者たち」	青葉区6大学・山内図書館	平成26年10月
48	カラス女子短期大学	横浜フランス月間	毎年6月～7月にかけて横浜市で開催されるフランス文化の祭典に本学も参加。	横浜日仏学院	平成26年7月
49	関東学院大学	ISOGOグローバルカレッジ	高校の地域等連携教育事業の一環として、高校生が広く知識を学ぶ機会を設けた。その一環として、高校生が本学学生へ大学生活や大学での学び等をインタビューすることにより、コミュニケーション能力の育成に寄与した。	磯子高校	平成26年5月～7月
50	関東学院大学	外国にルーツのある高校生への大学進学ガイダンス	外国にルーツのある神奈川県内に在住の高校生を対象に、日本の大学進学に関する情報提供(受験方法、奨学金、学生生活)および進路に関するワークショップを行った。企画運営をNPOとともに実施した。	NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ	平成26年6月
51	関東学院大学	関東学院大学カップ	金沢区少年少女ソフトボール連盟に所属する15チームと横須賀支部39チームによる決勝大会	金沢区少年少女ソフトボール連盟	26年12月

◎ 26年度 大学と市内地域・企業等との連携取組事例

#	大学名	連携事業名	具体的な連携取組の内容	連携先	事業期間
52	関東学院大学	関東学院大学カップ	金沢区少年少女ソフトボール連盟に所属する15チームと横須賀支部39チームによる決勝大会	金沢区少年少女ソフトボール連盟	平成26年12月
53	関東学院大学	自主防犯活動団体としての防犯パトロール活動	学生防犯ボランティア団体「ナンバーズ」と金沢警察署が連携して地域の防犯パトロール(自転車の盗難防止など)を行う活動。神奈川県「自主防犯活動団体」にも登録。	金沢警察署	平成26年4月～27年3月
54	関東学院大学	市民向け公開講座の共同実施	NPO法人横濱金澤シティガイド協会と共同で公開講座を実施。座学および街歩きにより、金沢区とその周辺地域の歴史を学ぶ講座を実施した。	NPO法人横濱金澤シティガイド協会	平成26年5月～6月、10月～11月
55	関東学院大学	シルクセンター・シルク博物館主催「シルキークリスマス」への協力	シルク振興を目的として毎年12月に約3週間の会期で開催される「シルキークリスマス」のメインイベント会場の空間構成とプログラム(ファッションショー)実施に協力	一般財団法人シルクセンター・シルク博物館	平成26年12月
56	関東学院大学	そごう横浜店開店30周年企画「オリジナルビール」商品開発	そごう横浜店が開店30周年を迎えるにあたり、横浜ビールとそごう横浜店、関東学院大学がコラボレートし、オリジナルのビールを数量限定で販売。人間環境デザイン学科内コンペにて、学生がビールラベルデザインを制作。商品ラベルとして採用された。	そごう横浜店 横浜ビール	平成26年12月～27年2月
57	関東学院大学	多文化共生フォーラム	地域における多文化共生を、地域住民、支援者、当事者、大学生、高校生とともに考えるイベントを実施。大学生、当事者による体験発表や多文化共生を考えるワークショップを行った。企画運営をNPOとともに実施した。	NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ NPO法人未来をつかむスタディーズ	平成27年2月
58	関東学院大学	中学生向け職業体験学習および高校生向けインターンシップ	中学生、高校生向けに、学習意欲の喚起、職業観の育成および職業に対する理解を深める機会を提供。	横浜市内中学校 横浜市内高等学校	平成26年8月～27年2月
59	関東学院大学	福祉の仕事相談会	大学生を対象に福祉の就職、ボランティアについての相談会の実施。学生への福祉の仕事に関する情報提供。	横浜市社会福祉協議会 社会福祉法人 社の会、和枝福祉会、試行会 横浜市福祉サービス協会、秀峰会、伸こう福祉会、くるみ会、かたるべ会、しのめい会、すみなす会、朝日の里	平成26年5月
60	関東学院大学	平成24年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「地域との協働による優良中小企業の経営戦略と政策課題に関する実証研究」	文部科学省の競争的資金の採択を受けた平成24年度から26年度までの3年間のプロジェクトで、地域経済を支える中堅・中小企業の問題性とともに新たな経営戦略に関する調査研究を推進し、また中小企業政策の形成に関する研究の推進を本学と社会との連携の重要な柱と位置づけ、学術研究と地域社会への貢献を視野に新たな研究拠点の形成を目指す。	神奈川県・横浜市、横浜商工会議所、中小企業家同友会、神奈川県異業種グループ連絡会等	平成26年4月～27年3月
61	関東学院大学	ボランティアフェア	大学1年次を対象に、夏休み期間でのボランティア活動、インターンシップの紹介を実施。	社会福祉法人光友会 地域活動ホームいぶき NPO法人港南福祉ホーム 磯子区社会福祉協議会 金沢区社会福祉協議会	平成26年7月
62	関東学院大学	旧伊藤博文金沢別邸プロジェクト	旧伊藤博文金沢別邸の存在を周知するため、コンサートなどを年一回行うほか関連グッズの開発や、広報誌「博文邸タイムズ」の発行を行っている。	公益財団法人横浜市緑の協会	平成26年10月
63	関東学院大学	実践ビジネスキャリア[神奈川の中小企業]	神奈川県中小企業家同友会による提供講義で、経済学部の学生のためにキャリア教育科目として開設している。	神奈川県中小企業家同友会	平成26年4月～7月
64	國學院大学	神奈川県 3033運動	1「親子で楽しむ運動遊び」 2健康な生活を意識した「テニス教室」 3健康な生活を意識した「体操教室」	神奈川県教育委員会	①9/27～1/10 ②10/10～11/21 ③11/5～11/19
65	國學院大学	神奈川県政策提言制度採択 生命・地球・エネルギー教育推進事業	人間開発学部教員による小学校への理科出張授業	神奈川県教育委員会	平成26年4月～27年3月
66	鶴見大学	つみみ夢ひろばin總持寺	地元鶴見の文化や歴史に親しみ、東日本大震災の被災地と絆を結ぶをテーマに開催。地域イベント(つみみ夢ひろばin總持寺等)に参加し、三松幼稚園や總持寺保育園等と連携して地域の子育て支援に貢献している。	鶴見区文化協会	平成26年11月
67	鶴見大学	豊岡商店街協同組合との間で「地域交流協定」	豊岡商店街協同組合との交流協定にもとづき、商店街主催「東北地区応援物産展とスタンブリー」に学生ボランティアチームと学生有志が参加。	鶴見区豊岡町商店街	平成26年5月
68	鶴見大学	豊岡商店街協同組合との間で「地域交流協定」	豊岡商店街協同組合との交流協定にもとづき、商店街主催の打ち水体験イベント「地球を冷ませ2014 in 豊岡」に、学生有志34名を派遣。浴衣姿で打ち水体験女子学生31名、水の補給等スタッフとして男子学生3名が参加。同時に、商店街の街路灯54本に本学学生有志(美術部ほか)が作成したフラッグが飾られる。	鶴見区豊岡町商店街	平成26年8月

◎ 26年度 大学と市内地域・企業等との連携取組事例

#	大学名	連携事業名	具体的な連携取組の内容	連携先	事業期間
69	東京藝術大学大学院映像研究科	馬車道まつり「トワイライトコンサート 藝大プラス」	本学音楽学部の協力を得て、地元馬車道商店街の馬車道まつりの一環として例年実施している市民向けプラスバンドコンサートを開催した。	馬車道商店街協同組合、関内ホール、横浜市文化観光局	平成26年11月
70	東京藝術大学大学院映像研究科	馬車道まつりアートフェスタ2014 クレイアニメ上映会 & スペシャルトーク「HARBOR TALE」	地元馬車道商店街の馬車道まつりの一環として、本学教授伊藤有希のクレイアニメ作品の上映とトークイベントを開催した。	馬車道商店街協同組合	平成26年10月
71	東京藝術大学大学院映像研究科	横浜フランスアニメーション映画祭2014	本学が協力事業として、横浜シネマ・ジャック&ベティで開催された映画祭について、本学修士生を中心とした上映プログラムの監修を行った。	アンスティチュ・フランセ横浜	平成26年6月～7月
72	東京工業大学	近隣交流会	近隣在住の留学生・研究員、関係教職員と近隣住民とお茶会	近隣自治会	平成26年7月
73	東京工業大学	地元自治会との懇談会・懇親会	地元自治会との懇談会、最新の研究紹介及び懇親会実施	近隣自治会	平成26年8月
74	東京工業大学	すずかけ祭スポーツ大会	地元チームとの交流ゲートボール大会	近隣のゲートボールチーム	平成26年5月
75	東京工業大学	すずかけ祭文化展	地元自治会による書道展とお茶席会(茶道)	近隣自治会	平成26年5月
76	フェリス学院大学	5校ジョイントコンサート	近隣地域の5校による文化交流を目的とした合唱、演奏によるジョイントコンサート。	岡津幼稚園、岡津小学校、岡津中学校、緑園総合高校、フェリス学院大学	平成26年10月
77	フェリス学院大学	After You (お先にどうぞ)～挨拶と歩行マナーキャンペーン～	最寄り駅周辺は学生で混雑するため、地域のみなさんと気持ち良く行き交うことができるよう、緑園都市コミュニティ協会(RCA)の方と共に歩道に立ち、毎学期始めの毎朝一週間、通学路の交通整理を連携して取り組んでいる。	緑園都市コミュニティ協会(RCA)	平成26年4月、9月
78	フェリス学院大学	RCA年末一斉清掃	まちの一員として、日頃利用している通学・通勤・生活路の一斉清掃に本学学生と職員が参加している。	緑園連合自治会・緑園都市コミュニティ協会(RCA)	平成26年12月
79	フェリス学院大学	外国籍住民日本語学習支援活動	近隣NPOなどの実施する外国籍住民コミュニティでの日本語学習支援ボランティアの紹介とフィールドワーク。	NPO法人「多文化まちづくり工房」	平成26年9月
80	フェリス学院大学	神奈川近代文学館での朗読会	専門家から朗読の指導を受けた学生とOGが、神奈川近代文学館との共催で同ホールで行う朗読会で、平成26年度で5回目となる。無料で一般の方に公開し、毎回100名以上の来場がある。	神奈川近代文学館	平成26年2月
81	フェリス学院大学	サマースクールプログラム@横浜	JICA横浜、ナビオス横浜、横浜NGO連絡会、横浜YMCAなどの協力を得ながら、夏の4泊5日、福島県の子ども達を横浜に招く短期保養プログラムを実施し、ボランティア学生が子ども達とともに、学び遊ぶことで子ども達の健康増進を図る。	JICA横浜、横浜NGO連絡会、ナビオス横浜、横浜YMCA	平成26年8月
82	フェリス学院大学	小学校での朗読会(計2回)	専門家から朗読の指導を受けた学生が、近隣の緑園東小学校を訪問し、図書委員の5、6年生を対象に朗読実習を実施。学生が日頃の練習の成果を披露するのみならず、小学生にも声に出して読んでもらうことで朗読の楽しさを共有する。本を通じた地域交流事業として実施している。	横浜市立緑園東小学校	平成25年6月～7月
83	フェリス学院大学	地域国際交流事業	RCA国際交流トークサロンのスピーカーとして留学生を推薦。RCA主催の行事(イヤーエンドパーティや横浜港の花火見物など)に留学生が参加し、日本文化を体験するなど、地域住民との国際交流を図っている。	緑園都市コミュニティ協会(RCA)	平成26年4月～27年3月
84	フェリス学院大学	日本語の個人指導	正課外で、留学生が日本語の個人指導を受けている。	NPO法人 留学生と語り合う会	平成26年4月～27年3月
85	フェリス学院大学	ふれあい軽スポーツ大会	泉区で毎年6月に実施される障がい者ふれあい軽スポーツ大会への、学生アナウンサーとボランティア派遣協力。	横浜市泉区社会福祉協議会	平成26年5月

◎ 26年度 大学と市内地域・企業等との連携取組事例

#	大学名	連携事業名	具体的な連携取組の内容	連携先	事業期間
86	フェリス学院大学	横浜インターンシップ制度	仲介していただいた企業へ、学生が夏季休暇を利用してインターンシップに参加している。前後に、横浜商工会議所主催の事業説明会、報告会に参加し、商工会議所および出席企業と意見交換し、各種報告を行っている。	横浜商工会議所	平成26年8月～9月
87	八洲学園大学	就活セミナー[女性とライフイベント]	就活セミナーの開催	・公益財団法人 横浜市男女共同参画推進協会 男女共同参画センター横浜	平成27年2月
88	横浜国立大学	ほどがや「みちまち」PJ — IN BETWEEN CITY HODOGA YA—	新たな地域資源の調査、移動式変形屋台「ほどわごん」の実践	ほどがや人・まち・文化振興会、ほどがやめぐり隊、松原商店街振興会、常盤台地区連合町内会、保土ヶ谷区区域推進課	平成26年4月～27年3月
89	横浜国立大学	横国エコキャンパスプロジェクト	環境意識の啓発	神奈川県、神奈川新聞社、NPO法人 アクションポート横浜、公益財団法人 横浜市資源公社、RCE横浜(横浜市環境創造局)、その他学内団体等	平成26年4月～27年3月
90	横浜国立大学	和田べんプロジェクト	商店街の活性化	和田町タウンマネジメント協議会、盛光堂、ひまわり亭、その他学内団体等	平成26年4月～27年3月
91	横浜国立大学	ワダヨコプロジェクト	商店街の活性化	Office wit(株)、和田町タウンマネジメント協議会、和田町商店街、和田西部町内会、和田町第一子供会、市民活動センターアワース、保土ヶ谷区地域振興課	平成26年4月～27年3月
92	横浜国立大学	市民活動を体験して考える協働型まちづくりプロジェクトV	横浜市内NPOへのインターンへの学生参加	NPO法人 アクションポート横浜	平成26年4月～27年3月
93	横浜商科大学	商大キャンパスバザール	公共スペースでは制約の多い販売方法やイベントを展開し、楽しい朝市の実現を試行している。また、「待つ商売」だけでなく「見せる商売」「引き寄せる商売」の実験の場でもある。本学学生も企画・運営に参加し、商いのスキルを学習する。大学のキャンパスを開放し朝市を楽しんでいただける場とすることで、地域の方々と良好な関係を構築する。	商大キャンパスバザール事務局	平成24年
94	横浜商科大学	商店街振興事業	野毛オータムフェスティバルの運営。	野毛商店街	平成19年
95	横浜商科大学	商店街振興事業	「ハロウィンだよ！おおぐちピッツァフェスティバル」の企画・運営。	大口通商店街	平成21年
96	横浜市立大学	K-STEPS研修会	横浜市、神奈川県内の保健・福祉専門職、相談対応従事者(民間・医療機関、行政職等)から構成されるネットワークの定例研修会の支援	K-STEPS	平成25年4月～
97	横浜市立大学	YCCスクール	ヨコハマ創造都市センターを拠点とし、横浜市、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、横浜国立大学、横浜市立大学の4者が協働し、「創造都市・横浜」の実現をめざし、創造都市の担い手の育成や、教育活動等を行う。	・公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 ・横浜国立大学	平成24年～
98	横浜市立大学	医工連携セミナー	研究現場のニーズと中小企業の技術のマッチングなどによる地域経済の発展や市内中小企業への支援の活性化を目指す取組	公益財団法人横浜企業経営支援財団	平成26年9月
99	横浜市立大学	学生が取り組む地域貢献活動支援事業	地域が抱える課題を実践的に研究・解決する学生による地域貢献に資する活動等を、学内公募し、優秀な企画・活動・提案・プロジェクトに対して助成金を交付するものです。	・初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会 (「Kogane-X Lab. コガネックス・ラボ」)	平成23年8月～
100	横浜市立大学	学生が取り組む地域貢献活動支援事業	地域が抱える課題を実践的に研究・解決する学生による地域貢献に資する活動等を、学内公募し、優秀な企画・活動・提案・プロジェクトに対して助成金を交付するものです。	・金沢区 六浦地区社会福祉協議会、瀬戸町内会	平成23年8月～
101	横浜市立大学	学生が取り組む地域貢献活動支援事業	地域が抱える課題を実践的に研究・解決する学生による地域貢献に資する活動等を、学内公募し、優秀な企画・活動・提案・プロジェクトに対して助成金を交付するものです。	・横浜市認可ピジョン保育園、パレット家庭的保育室なないろ、青葉区地域子育て支援拠点フル	平成24年7月～
102	横浜市立大学	学生が取り組む地域貢献活動支援事業	地域が抱える課題を実践的に研究・解決する学生による地域貢献に資する活動等を、学内公募し、優秀な企画・活動・提案・プロジェクトに対して助成金を交付するものです。	・横浜橋商店街協同組合	平成25年6月～

◎ 26年度 大学と市内地域・企業等との連携取組事例

#	大学名	連携事業名	具体的な連携取組の内容	連携先	事業期間
103	横浜市立大学	学生のインターンシップ	横浜商工会議所主催による市内大学の学生を対象としたインターンシップ。横浜商工会議所の加盟団体・企業で学生がインターンシップを行う。	横浜商工会議所	平成17年～
104	横浜市立大学	学生のインターンシップ	野村證券横浜支店紹介による市内大学の学生を対象としたインターンシップ。野村證券横浜支店の取引先団体・企業で学生がインターンシップを行う。	野村證券株式会社横浜支店	平成26年6月
105	横浜市立大学	神奈川県HIVフォーラム	神奈川県内のHIV、エイズ治療の普及を目的に各拠点病院等に対して技術支援を行う取組	神奈川県内のエイズ治療拠点病院等	平成21年10月
106	横浜市立大学	神奈川県HIV/AIDS医療従事者研究会	神奈川県内のHIV、エイズ治療の普及を目的に各拠点病院等に対して技術支援を行う取組	神奈川県内のエイズ治療拠点病院等	平成21年09月
107	横浜市立大学	神奈川県看護協会実施の教育課程における講義の実施	・平成26年度緩和ケア認定看護師教育課程「文献検索・文献講読」 ・平成26年度認定看護管理者ファーストレベル教育課程「看護情報論」	神奈川県看護協会	平成26年4月～6月
108	横浜市立大学	寄附講座	横浜銀行グループによる「銀行講座」	株式会社横浜銀行	平成18年～
109	横浜市立大学	寄附講座	横浜信用金庫寄附講座「融資判断のための企業分析」	横浜信用金庫	平成18年～
110	横浜市立大学	寄附講座	産業事情～ファッション・ビジネス戦略 I	財団法人ファッション産業人材育成機構	平成18年～
111	横浜市立大学	寄附講座	環境経営の最先端：グリーン購入が開く環境都市	横浜グリーン購入ネットワーク	平成26年9月～27年2月
112	横浜市立大学	寄附講座	中小企業のCSR戦略	神奈川県中小企業家同好会	平成26年9月～27年2月
113	横浜市立大学	キャンパスタウン金沢	横浜市立大学では、大学が2つあるという金沢区の強みを生かし、金沢区と関東学院大学と連携しながら、『大学の活力を生かしたまちづくり』に取り組んでいます。授業の中で学生が金沢区のまちづくりについて提案したり、美術部が金沢区区庁舎エントランスの空間デザインを創作するなど、さまざまな取組を行っています。	金沢区、関東学院大学 ・西大道町内会 ・事業協同組合 金沢八景共栄会 ・横浜市金沢団地協同組合、金沢中央事業会、(一社)横浜金沢産業連絡協議会 等	平成20年11月～
114	横浜市立大学	教員地域貢献活動支援事業	地域社会が抱える諸問題を地域課題として提案していただき、本学の事業予算により、本学の教員及び地域貢献センターと共同で調査、研究、社会実験等の活動を通じて課題解決を目指す事業です。	・日産自動車(株)	平成26年7月
115	横浜市立大学	教員地域貢献活動支援事業	地域社会が抱える諸問題を地域課題として提案していただき、本学の事業予算により、本学の教員及び地域貢献センターと共同で調査、研究、社会実験等の活動を通じて課題解決を目指す事業です。	・(株)横浜インポートマート ・株式会社テレビ神奈川 ・NPO法人横浜コミュニティデザイン・ラボ	平成26年8月
116	横浜市立大学	国際機関実務体験プログラム	横浜市国際交流協会(YOKE)が主催による市内4大学の学生を対象とした実務体験プログラム。	横浜市国際交流協会(YOKE)	不明
117	横浜市立大学	市民公開講座 買い病院のかり方～地域医療の仕組み～	市民の皆様、病気にかかった際に適切な医療機関を選択して受診できるよう、知識を提供する。	横浜市医師会	平成24年
118	横浜市立大学	第2回大倉山国際学生フォーラム横浜2014	大倉山記念館において、ハーバード大学の学生と横浜市内にある大学(慶応大、東工大、横浜大)の学生との文化交流会を開催。第2回のテーマはアニメ。	大倉陽子プロジェクトチーム	平成26年6月
119	横浜市立大学	第3回大倉山国際学生フォーラム横浜2015	大倉山記念館において、海外からの留学生と日本の大学(慶応大、お茶の水女子大、日大、桜美林大、横浜大)の学生との文化交流会を開催。第3回のテーマは古代日本人の神話、またその信仰について。	大倉陽子プロジェクトチーム	平成27年2月

◎ 26年度 大学と市内地域・企業等との連携取組事例

#	大学名	連携事業名	具体的な連携取組の内容	連携先	事業期間
120	横浜市立大学	中学生職業体験・職業インタビュー	中学生が病院で働く人たちの姿に触れ、職業に対する興味・関心や職業に対する理解を深める機会を提供する取組	横浜市内の中学校	平成18年
121	横浜市立大学	つみ臨海フェスティバル	年1回行われる鶴見区市民フェスティバルの一つ。理研・市大合同ブースにて参加。開催場所は鶴見区の入船公園。毎年多くの関係団体が参加している。	・理化学研究所 横浜事業所 ・鶴見区 ・実行委員会	平成21年10月～
122	横浜市立大学	特別講座	特別講座(MICE横浜オープンカレッジ)	公益財団法人横浜観光コンベンションビューロー	平成24年～
123	横浜市立大学	はじめの一歩教室	近隣の小学生を対象としたサッカー教室の開催。	・横浜市立金沢高校サッカー部	平成25年度
124	横浜市立大学	横浜職域メンタルヘルス支援ネットワーク研修会	横浜市・県内外の企業とネットワークを構築し、産業保健分野における専門職や労働担当者の資質の向上を目指して、情報共有、事例検討会、学習会を行っている(企画・運営)	独立行政法人海洋研究開発機構、株式会社新和製作所、東芝ヒューマンアセットサービス株式会社、東洋電機製造株式会社横浜製作所、日本航空電子工業株式会社、日本発条株式会社、ネットワークシステムズ株式会社、富士フィルム健康管理センター、三菱日立パワーシステムズ(株)横浜工場、横浜市など	平成19年11月～
125	横浜市立大学	理研・市大合同一般公開	隣接する理化学研究所と市大が合同で行う1年に1度の施設一般公開。普段は見られない研究施設や実験機器等の公開や体験型の実験、講演会などを実施。周辺地域の小中学校や公的施設への周知及び参加呼びかけ等の取組を行っている。	・理化学研究所 横浜事業所 ・鶴見区及び周辺区の公的施設や小中学校など	平成13年7月～
126	横浜市立大学	理研・市大合同グリーンキャンペーン	鶴見まちづくり推進協議が提唱し、鶴見区民・企業・行政が一体となり、「明るくきれいな鶴見区」をつくるためのグリーンアップキャンペーンで理研・市大合同で大学前から鶴見小野駅間の市道の掃除及びドングリ拾いのボランティア。ドングリは高知県土佐郡大川村のどんぐり銀行へ寄与されている。	・理化学研究所 横浜事業所 ・鶴見区 ・社団法人大川村ふるさとむら公社	平成21年10月～
127	横浜市立大学	留学生による英語授業	本学の留学生2名が高校1年生の英語の授業に講師として参加し、出身国の紹介等を全て英語で実施	県立横浜翠嵐高校	平成26年11月
128	横浜市立大学	留学生のインターンシップ	横浜企業経営支援財団(IDEC横浜)主催による本学留学生のためのインターンシップ。 横浜企業経営支援財団(IDEC横浜)が会員企業へ内容を周知し、本学留学生が市内企業でインターンシップを行う。	横浜企業経営支援財団(IDEC横浜)	平成24年6月～
129	横浜市立大学	留学生出前授業	本学の留学生4名が訪問し、高校1年生のクラスで講師になり「海外留学生との交流会」として実施	県立保土ヶ谷高校	平成26年6月
130	横浜市立大学	連携特別講座	特別講座(連携特別講座「国際協力事業」)	JICA横浜	平成26年9月～27年2月
131	横浜市立大学	横浜フランス月間 討論会 都市の忘却空間の再生	日仏文化協力90周年を記念して、姉妹都市である横浜市とリヨン市等から都市計画の専門家等をパネリストに迎え、都市部の使われなくなった場所を芸術によって再生する方法についての討論会を開催。本学の鈴木伸治教授が統括を務めた。	アンステイチュ・フランセ	平成26年6月
132	横浜市立大学	高校生との交流	高校2年生5名が「フロンティア学習」の一環として本学に来校し、本学の韓国と中国からの留学生にインタビューを行い交流	県立金沢総合高校	平成26年5月
133	横浜市立大学	地域医療連携研修会	地域の医療従事者(開業又は勤務している、医師・歯科医師・薬剤師・看護師等)を対象として、当院における臨床研究の成果を踏まえ、医療知識の普及を図り、また研修・研鑽の場を提供することにより、地域医療に貢献することを目的とした取組	・7区医師会(磯子区、金沢区、港南区、栄区、中区、西区、南区) ・南区薬剤師会 ・製薬会社等	平成19年
134	横浜市立大学	末広町プロムナード再整備	鶴見区末広町プロムナードの緑化整備・再整備を目的にした末広地区緑のまちづくり協議会に参加し、地域の発意による公共緑化整備等の取組	・理化学研究所 横浜事業所 ・鶴見区 ・トンボみちファンクラブ ・末広地区関係企業 ・環境創造局みどりアップ推進課	平成24年4月～
135	横浜市立大学	留学生出前授業	本学の留学生4名が訪問し、中学1年生を対象に国際理解教育をテーマにした「留学生による出前授業」を実施	横浜市立小田中学校	平成25年～

◎ 26年度 大学と市内地域・企業等との連携取組事例

#	大学名	連携事業名	具体的な連携取組の内容	連携先	事業期間
136	横浜創英大学	「あつまれ！みどりっこ祭り」	長津田保育園でのイベントアシスタントとして参加	長津田保育園	平成26年11月
137	横浜創英大学	「あつまれ！みどりっこ祭り」	鴨居保育園でのイベント見学	鴨居保育園	平成26年6月
138	横浜創英大学	「あつまれ！みどりっこ祭り」	ハーモニーみどり(中山)でのイベント見学	ハーモニーみどり	平成26年6月
139	横浜創英大学	看護の日「子ども事故予防と緊急時の対応」	地域住民の方々を対象に左記テーマのレクチャー及び演習		平成26年5月
140	横浜創英大学	霧が丘連携協定に基づく「健康講座」	地域住民の方々を対象に左記テーマで実施	地域住民の方々を対象に左記テーマで実施	平成27年2月
141	横浜創英大学	霧が丘連携協定に基づく「国際親子交流会」	地域住民の方々を対象に左記テーマで実施	地域住民の方々を対象に左記テーマで実施	平成26年12月
142	横浜創英大学	霧が丘連携協定に基づく「スポーツレクリエーション」	地域の親子を対象に本学アリーナで開催	UR都市機構、霧が丘連合自治会	平成26年11月
143	横浜創英大学	健康チェックイベント	地域住民の方々を対象に左記テーマのレクチャー及び演習	霧が丘ケアプラザ	平成26年11月
144	横浜創英大学	公開講座「発達障害と気になる子の保育について」	横浜市内の保育士等を対象に実施	市内保育所	平成26年12月
145	横浜創英大学	港北区保育所研修会	発達障害をテーマに港北区内の保育士を対象に実施	市内保育所	平成27年1月
146	横浜創英大学	子育てイベント「ママFUN DAY」うた遊び・ふれあい遊び	地域の子育て中のママを対象に本学教員がサポート	霧が丘ケアプラザ	平成26年7月
147	横浜創英大学	子育てイベント「ママFUN DAY」こもぎ粘土で遊ぼう	地域の子育て中のママを対象に本学教員がサポート	霧が丘ケアプラザ	平成27年3月
148	横浜創英大学	子育てイベント「ママFUN DAY」新聞紙で遊ぼう	地域の子育て中のママを対象に本学教員がサポート	霧が丘ケアプラザ	平成27年1月
149	横浜創英大学	子育てイベント「ママFUN DAY」チャレンジ広場で遊ぼう	地域の子育て中のママを対象に本学教員がサポート	霧が丘ケアプラザ	平成26年9月
150	横浜創英大学	子育てイベント「ママFUN DAY」防ごう子どもの事故	地域の子育て中のママを対象に本学教員がサポート	霧が丘ケアプラザ	平成26年10月
151	横浜創英大学	子育てイベント「ママFUN DAY」リズム遊び	地域の子育て中のママを対象に本学教員がサポート	霧が丘ケアプラザ	平成26年11月
152	横浜創英大学	同上「親子工作教室」	地域の親子を対象に木の葉のフロッタージュ作りをサポート	霧が丘ケアプラザ	平成26年11月

◎ 26年度 大学と市内地域・企業等との連携取組事例

#	大学名	連携事業名	具体的な連携取組の内容	連携先	事業期間
153	横浜創英大学	十日市場中学校「上級学校訪問」	体験授業	十日市場中学校	平成26年9月
154	横浜薬科大学	歩こう会	地域住民と大学教職員・学生が月1度「歩こう会」を開催し、健康の維持及び友好を深める機会をつくる。	俣野公園事務所、NPO法人 ドリームの丘	平成20年
155	横浜薬科大学	かながわ親子健康セミナー2014	子を持つ親や、教育関係者向けの講座	神奈川新聞社	平成21年
156	横浜薬科大学	神奈川新聞社花火大会	本学在学生在がボランティア活動として車椅子招待者らのお世話をした。	神奈川新聞社	平成21年
157	横浜薬科大学	子ども薬剤師体験セミナー (子どもアドベンチャー2014)	学校では学ぶことのできない「本物に触れる」体験・学習活動の場を提供する。	横浜市薬剤師会	平成23年
158	横浜薬科大学	出張講義(高校生:13件)	高校からの要望により、大学で行なわれている興味を抱くような講義を現場で実施	市内高校	平成18年
159	横浜薬科大学	出張講座(一般:8回)	市民向けの講座の開催を出張で実施	各機関	平成19年度
160	横浜薬科大学	地域祭り、レクリエーション参加(5回)	地域の団結と和をつとめ、教職員・学生の参加	近隣自治会	平成18年
161	横浜薬科大学	中学校生徒の職場体験学習(2回)	近隣中学校の要望により職場体験学習を実施(薬草園業務、売店業務)	市立大正、深谷中学校	平成22年
162	横浜薬科大学	俣野公園のつどい	俣野公園近隣の自治会・教育関係者・諸団体が目指す共助態勢の育成	俣野公園事務所、NPO法人 ドリームの丘	平成23年
163	横浜薬科大学	薬物乱用防止啓発イベント	第3回「薬物乱用防止キャンペーン」IN 横濱、薬物乱用のない社会を目指す。	薬物乱用防止キャンペーン実行委員会 (社団法人 横浜市薬剤師会、市、横浜薬科大学)	平成24年